

# 押尾川親方が新設

# 「押尾川部屋」誕生へ

## 県出身者設立70年ぶり



押尾川親方

日本相撲協会は27日、東京・両国国技館での理事会で、尾車部屋の閉鎖に伴い、北秋田市出身の押尾川親方(42)元関脇豪風、本名成田旭が2月7日付で「押尾川部屋」を新設することを承認した。相撲協会によると、本県出身者の相撲部屋設立は1952



年に井川町出身の元幕内大ノ海が芝田山部屋を興して以

来、70年ぶり。 ■押尾川部屋誕生関連記事



建設が進む押尾川部屋の建物 東京都墨田区

31面

押尾川部屋には4月に相撲協会定年の65歳を迎える尾車親方(元大関琴風)や矢後(十両)、天風(幕下)、飛燕力(序二段)の3力士、世話人と床山の各1人が移る。押尾川部屋は元大関麒麟がかつて師匠を務め、2005年以來の復活となる。

押尾川部屋は東京都墨田区

文花に建設中で、4月に開所予定。6階建てのビルで1階が稽古場、2階が力士、3階が親方の居室になる。4階以上は学生や一般向けの居室にするという。

金足農業高校出身の押尾川親方は中央大学4年で全国学生選手権を制した。02年に尾車部屋入りしてから19年に引退するまで、突きや押しを武器に活躍。通算100場所のうち86場所を幕内で戦った。

押尾川親方は「現役時代と違い、これからは所属力士を勝たせるといふプレッシャー、責任がある。礼儀を重んじ、けがに強く、何より勝負強い力士の育成を目指して頑張りたい」と語った。(大石卓見)